
2025年度(2026年3月期) 決算補足資料

株式会社ダイヘン

2026. 5. 11

2025年度業績

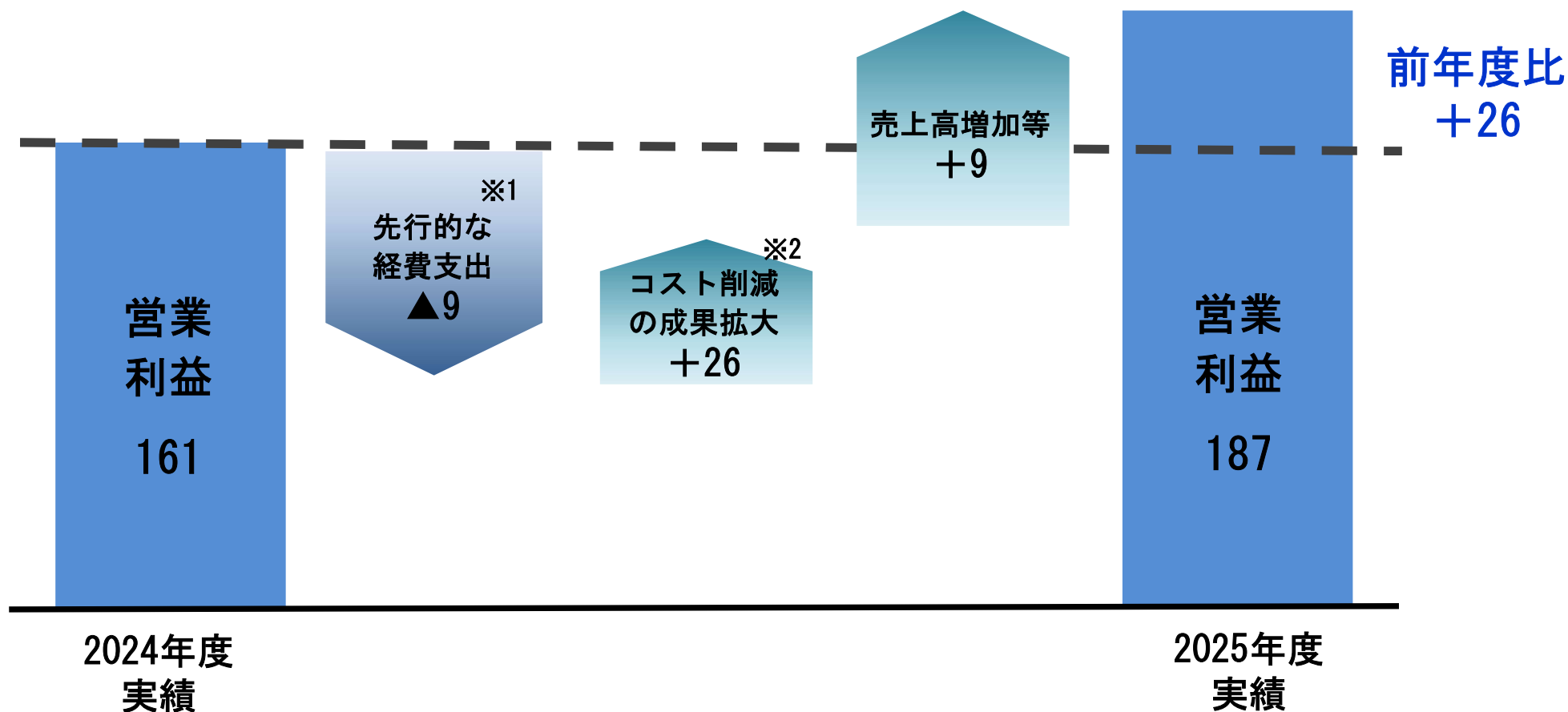
- ・ 電力インフラ及び半導体関連企業の設備投資増加を背景に増収増益
- * 売上高・営業利益・経常利益は**過去最高を更新**

(単位：億円)

	2024年度実績 ①		2025年度実績 ②		前年度比		2025年度業績予想 ③		
					②-①	増減率		増減率	
売上高		2,263		2,377	+114	+5.0%	2,350	+1.2%	
1 エネルギー・マネジメント		1,208		1,282	+74	+6.1%	1,270	+1.0%	
2 ファクトリーオートメーション		327		329	+2	+0.5%	330	0%	
3 マテリアルフロセッシング		726		764	+38	+5.2%	750	+1.9%	
営業利益	7.1%	161	7.9%	187	26	+16.1%	7.9%	185	+1.5%
経常利益	7.6%	171	8.5%	201	29	+17.0%	8.1%	190	+5.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	5.3%	119	5.9%	141	+22	+18.0%	6.0%	140	+0.8%
ROE		8.8%		9.7%	+0.9%	ポイント			
1株当たり配当金		165円		180円	+15円				
配当性向		33.4%		30.4%					

2025年度 営業利益変動要因(前年度比)

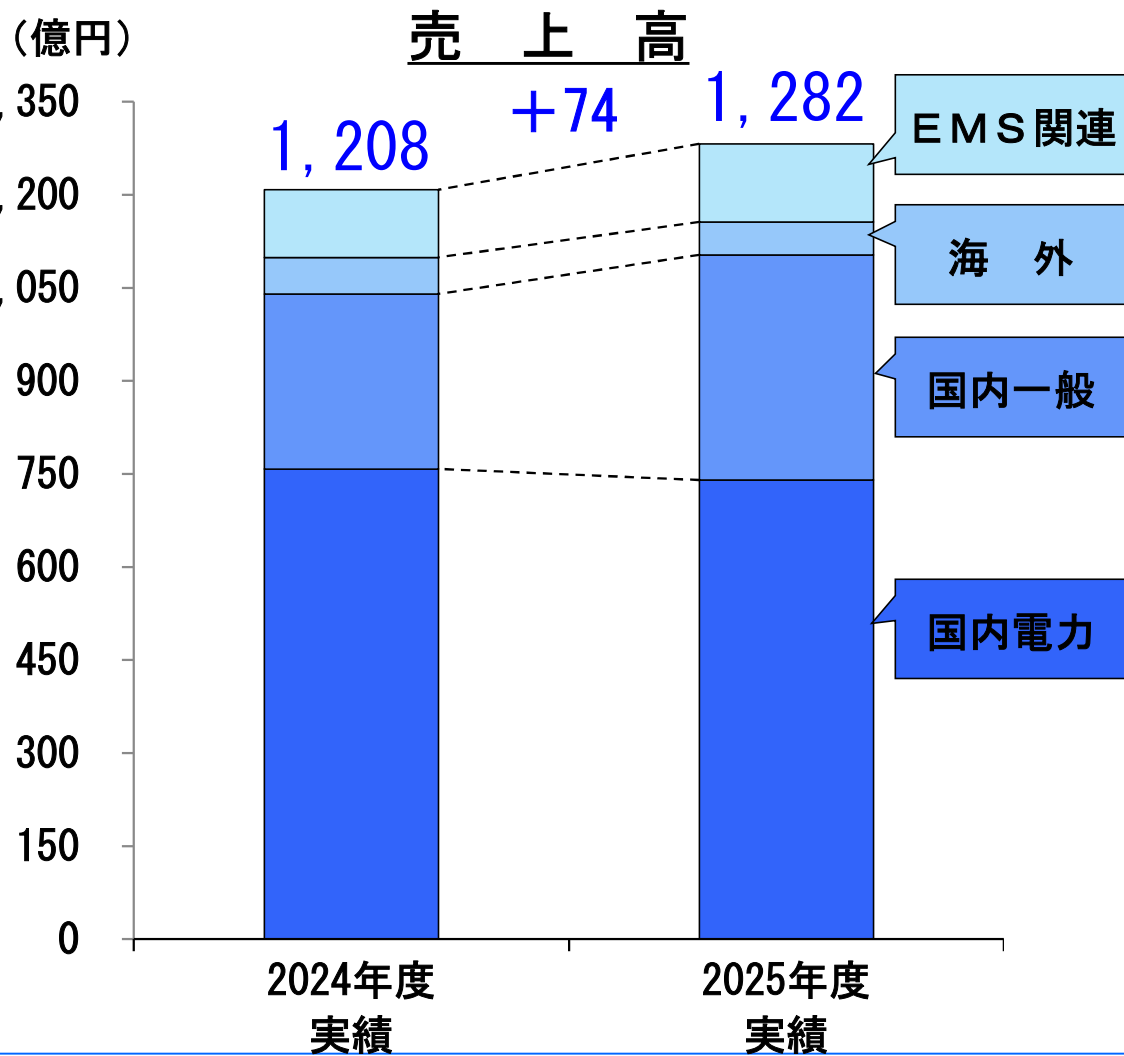
(単位：億円)



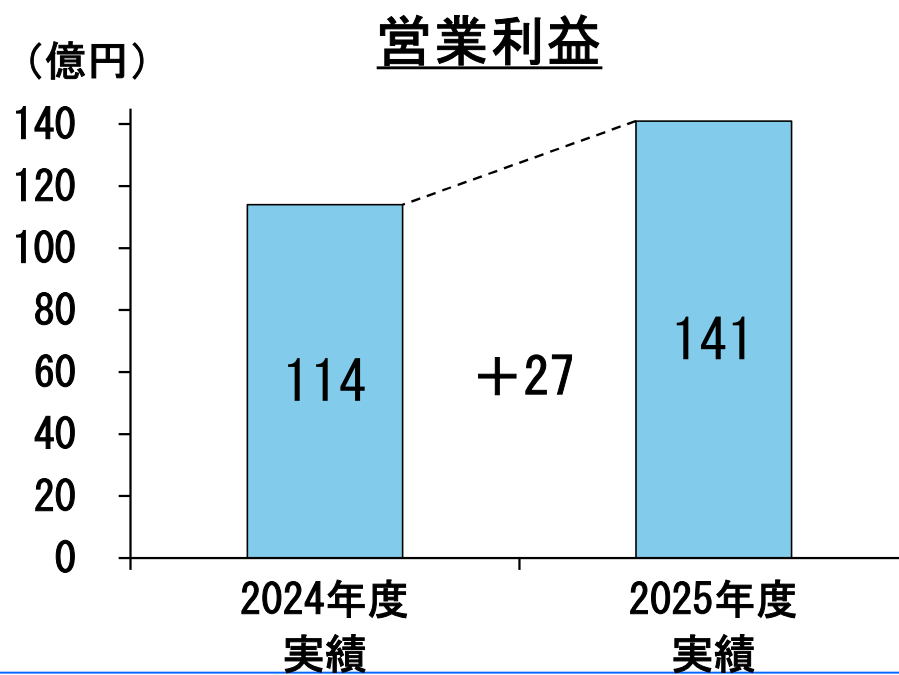
※1 先行的な経費支出 : 開発費 ▲5、償却費 ▲4

※2 コスト削減の成果 : 材料コストダウン +13、生産性向上+4、間接業務効率化 +9

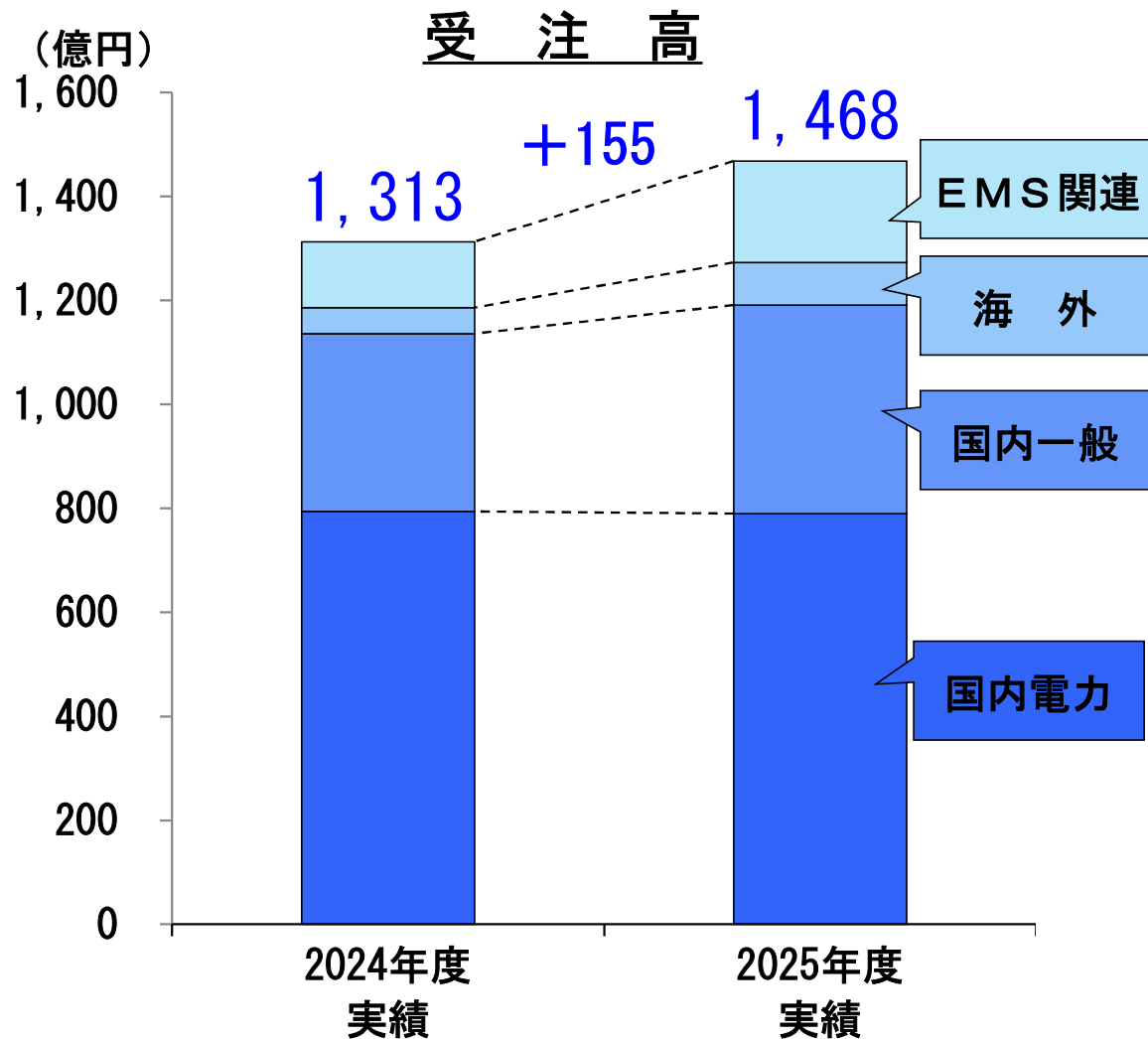
「エネルギーマネジメント」セグメント 売上高・営業利益



- 工場受変電設備の更新投資が堅調に推移、再エネ導入進展に伴う電力需給調整市場の拡大を背景とする蓄電池システムの増加などにより増収増益



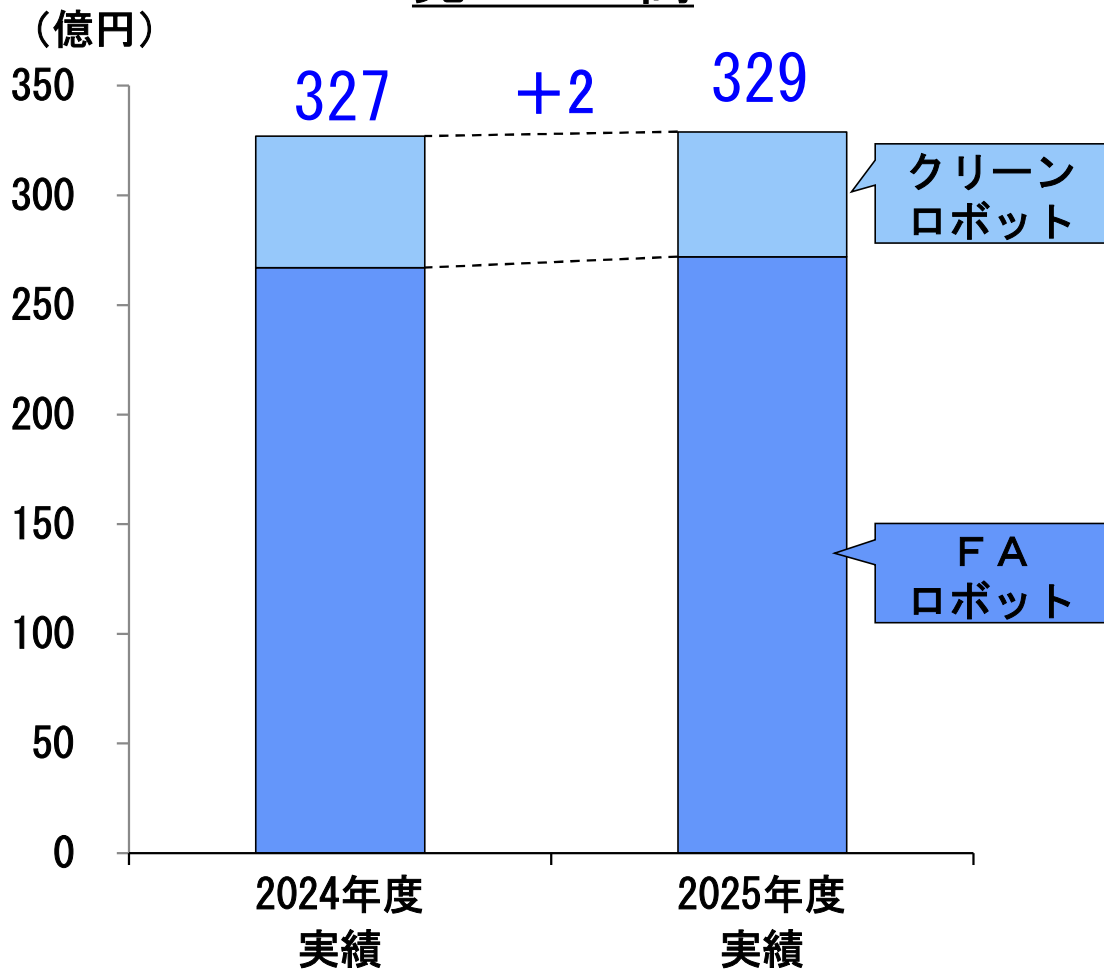
「エネルギーマネジメント」セグメント 受注高



- ・ 国内一般は更新投資に加え、再エネ関連投資やデータセンター向けが増加
- ・ EMS関連は蓄電所案件が大きく増加

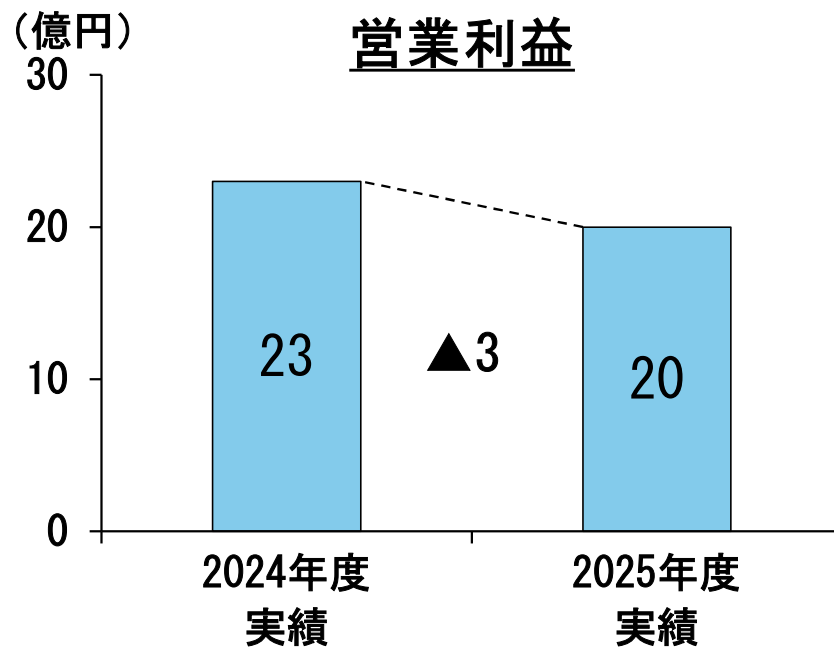
「ファクトリーオートメーション」セグメント 売上高・営業利益

売上高

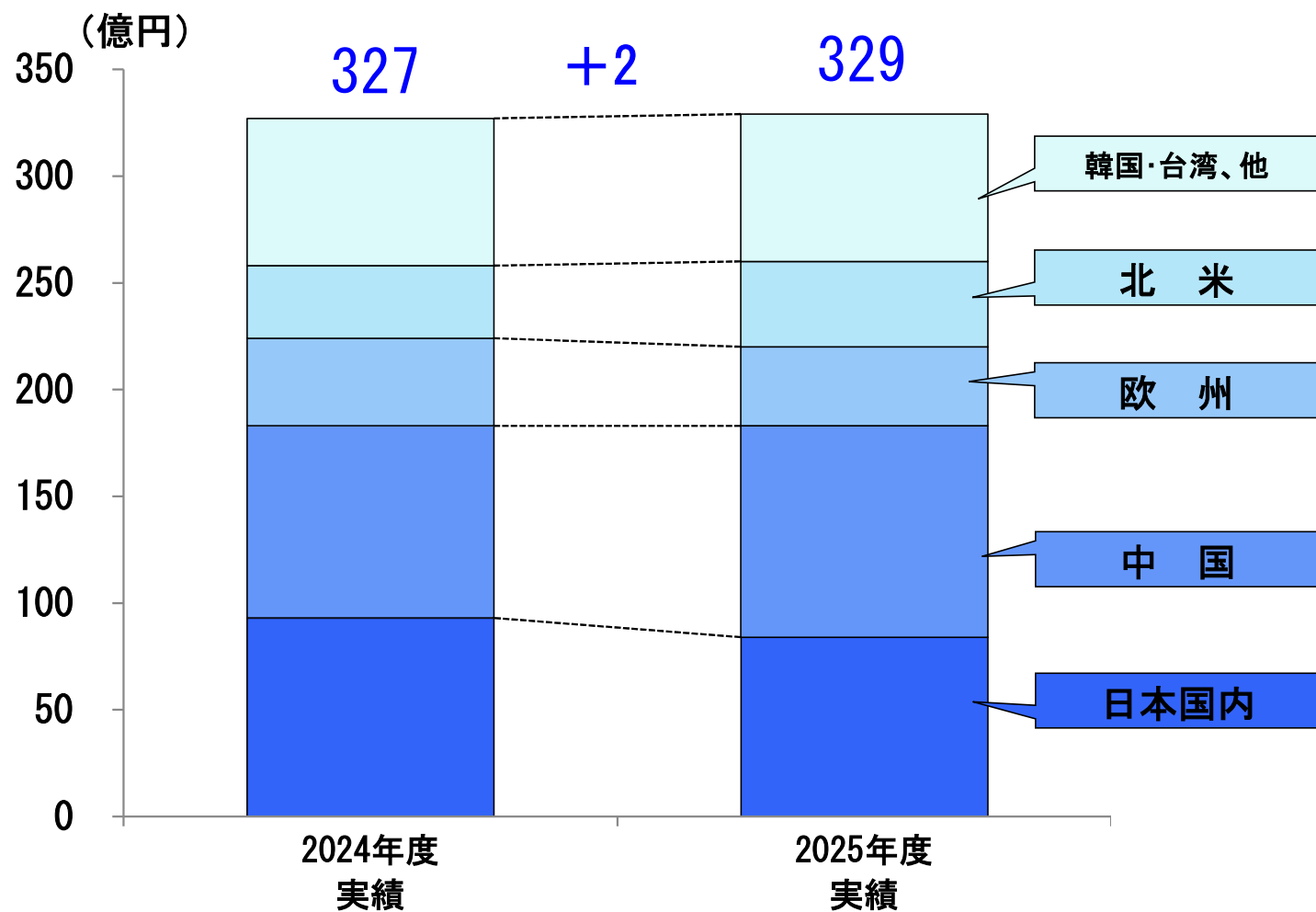


- ・ 米国や中国での新規顧客開拓の成果により増収
- ・ 営業利益は収益性の高い案件の減少などにより減益

営業利益

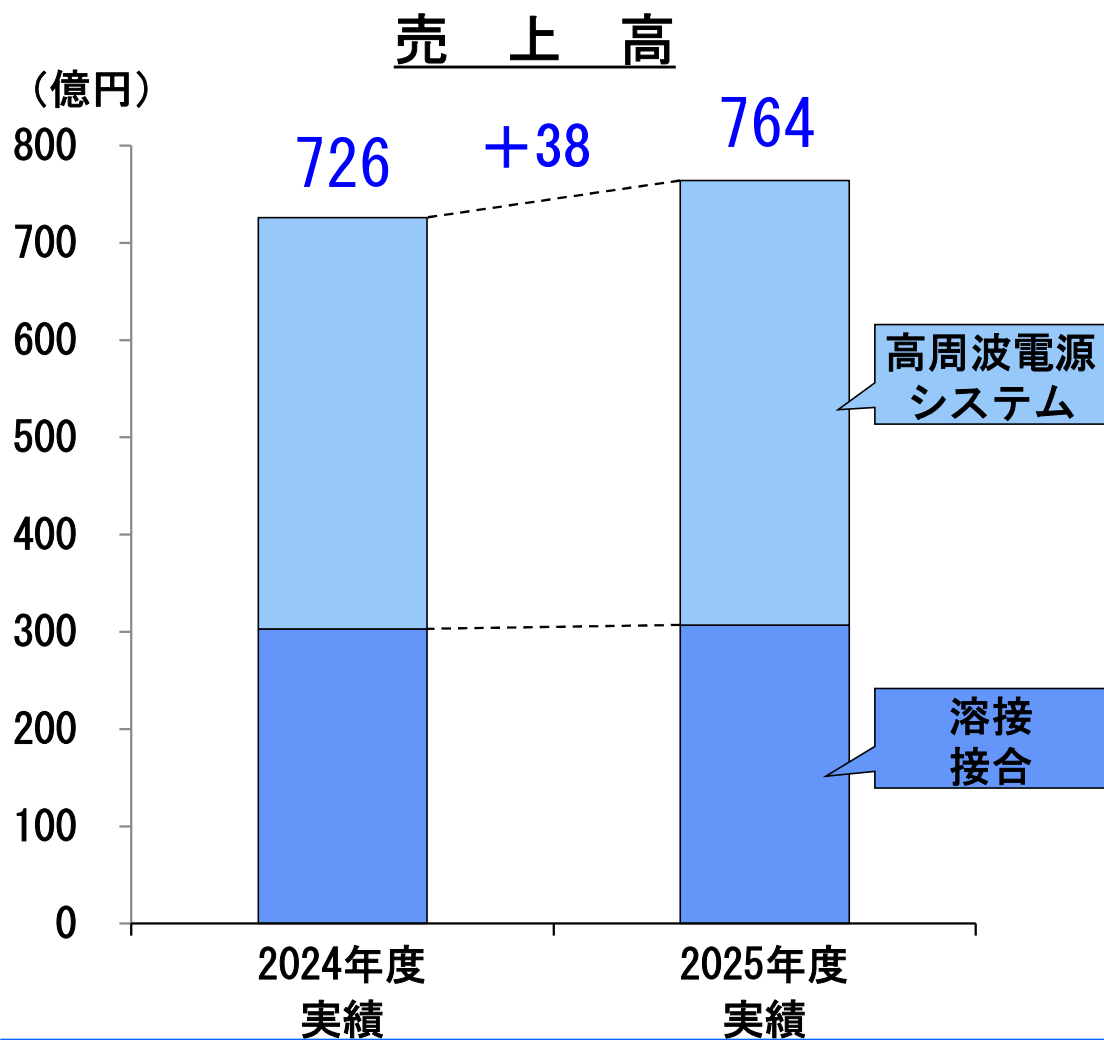


「ファクトリーオートメーション」地域別売上高

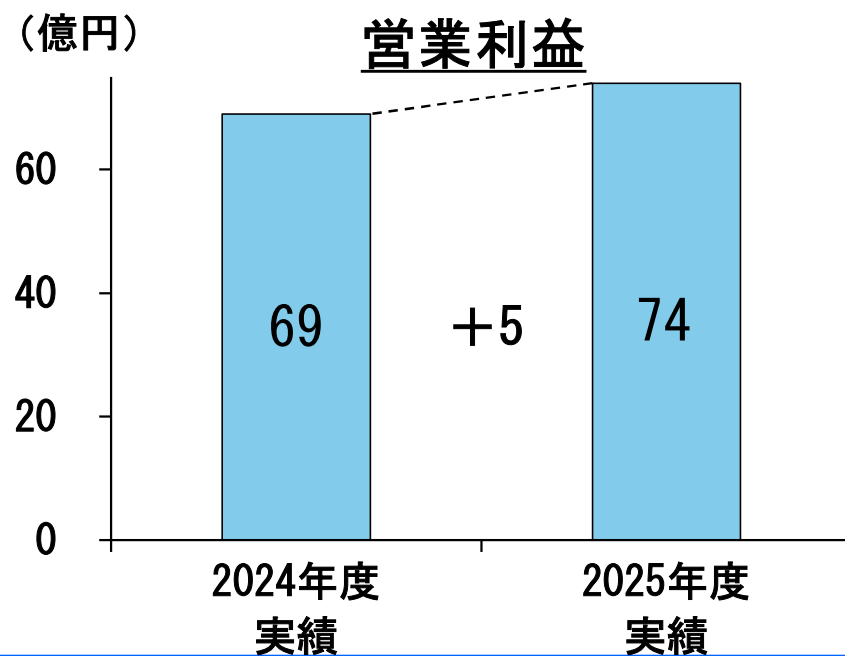


- 国内・欧州では投資抑制の傾向が続いたが、その他地域は増収

「マテリアルプロセッシング」セグメント 売上高・営業利益



- ・生成AI用途の先端半導体関連投資が高水準で推移したことにより増収増益



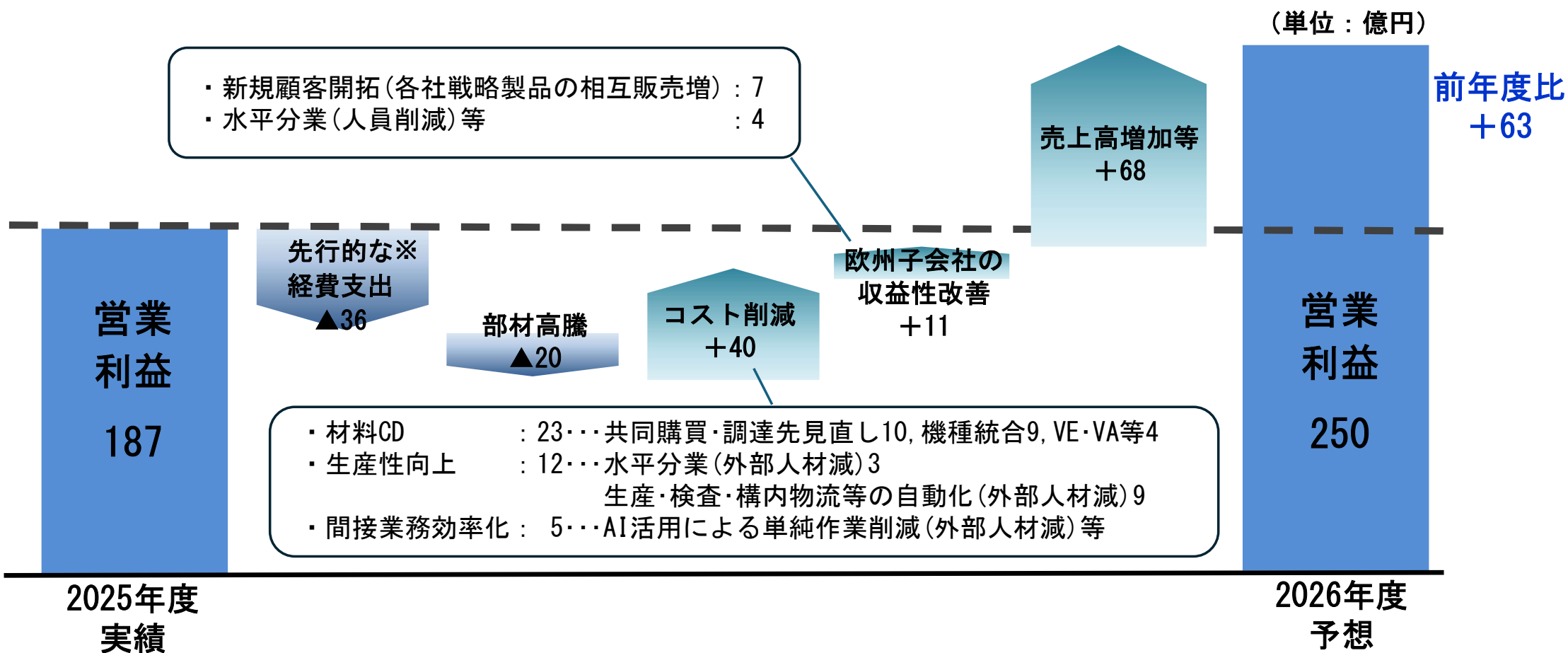
2026年度業績予想

- ・ 売上高・利益すべての項目で**過去最高を更新**、
2026年度**中期計画目標を達成**する見通し

(単位：億円)

	2025年度 実績 ①	2026年度 予想 ②	前年度比	
			②-①	増減率 ②/①
売上高	2,377	2,800	+423	+17.8%
1 エネルギー・マネジメント	1,282	1,340	+58	+4.5%
2 ファクトリーオートメーション	329	410	+81	+24.5%
3 マテリアルフローセンシング	764	1,050	+286	+37.4%
営業利益	7.9% 187	8.9% 250	+63	+33.1%
経常利益	8.5% 201	9.1% 255	+54	+26.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.9% 141	5.9% 165	+24	+16.9%
ROE	9.7%	10.3%	+0.6ポイント	
1株当たり配当金	180円	210円	+30円	
配当性向	30.4%	30.0%		

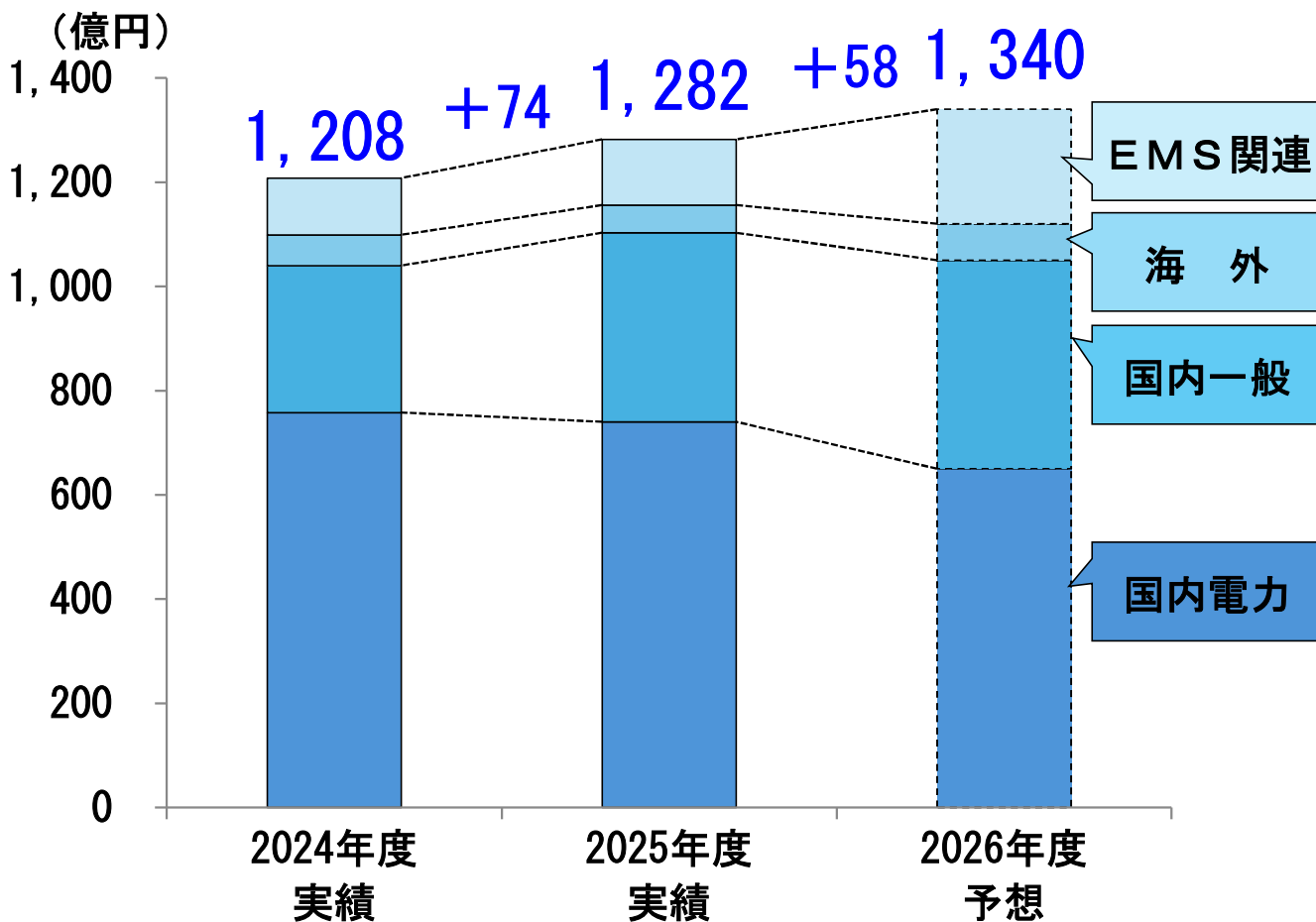
2026年度通期業績予想 営業利益変動要因



※ 先行的な経費支出 : 開発費 ▲12、償却費 ▲24

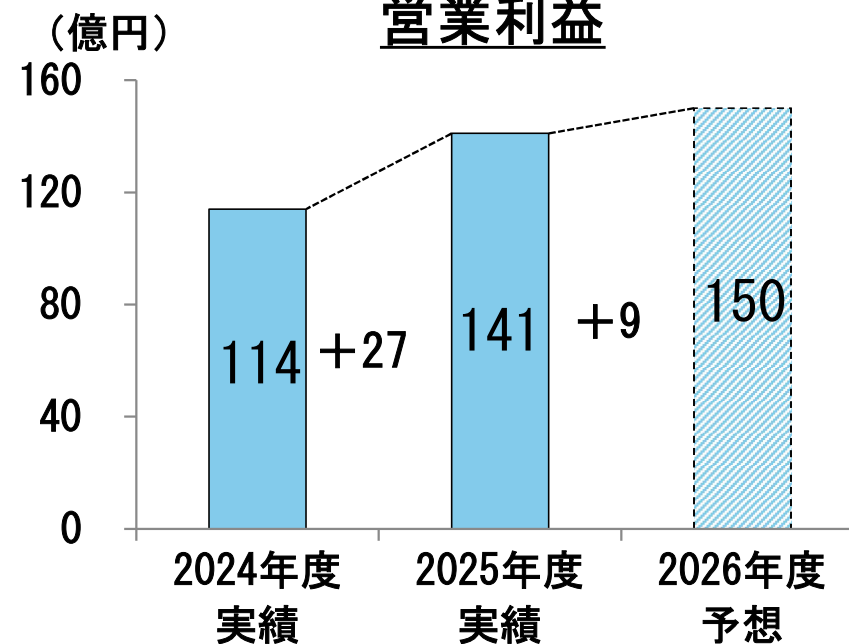
「エネルギーマネジメント」セグメント

売上高

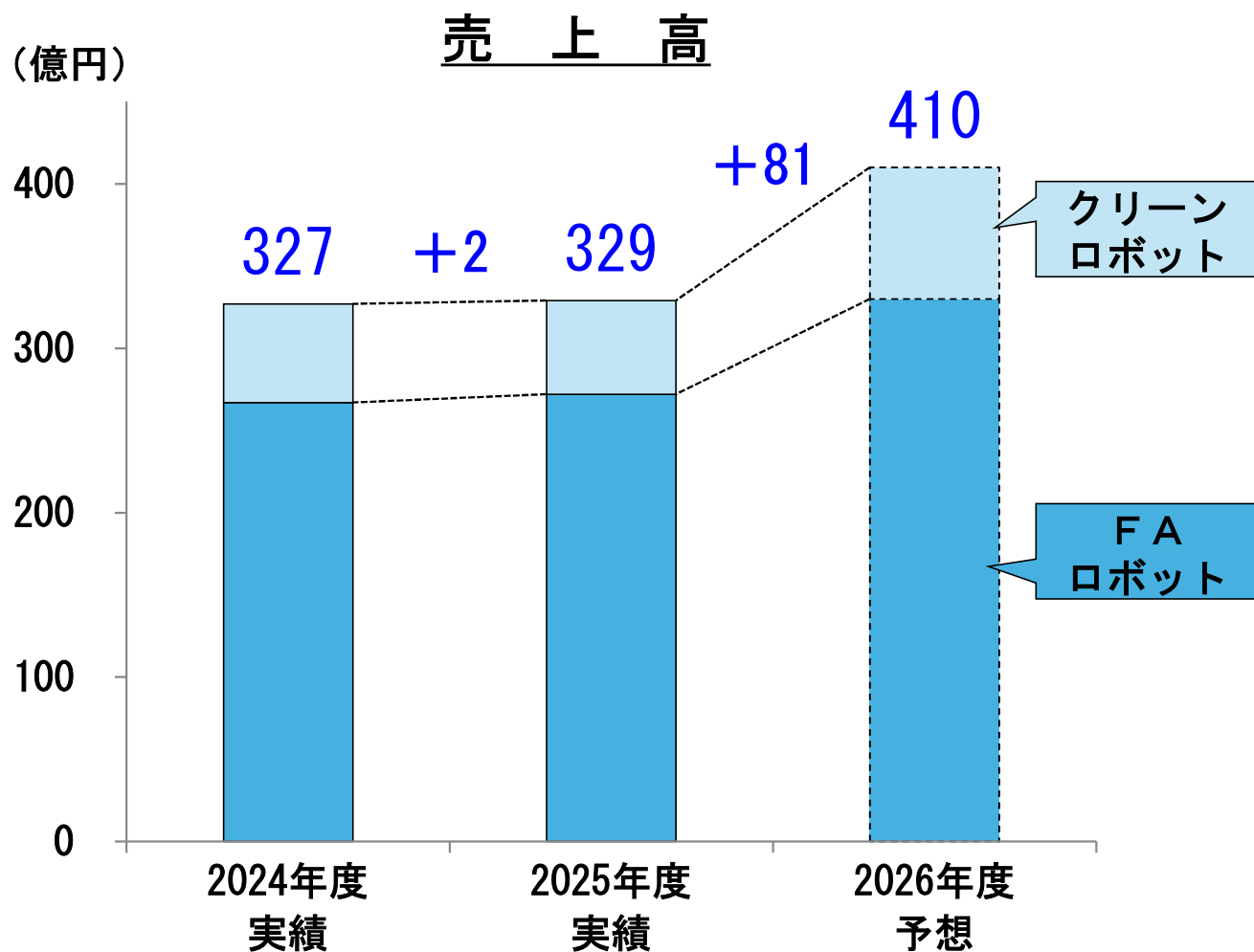


- ・ 電力会社の更新投資は減少するが、データセンター増設・再生可能エネルギー導入拡大に伴う蓄電池システム等の販売増加により増収
- ・ コストダウンの成果拡大により償却費増を賄い増益

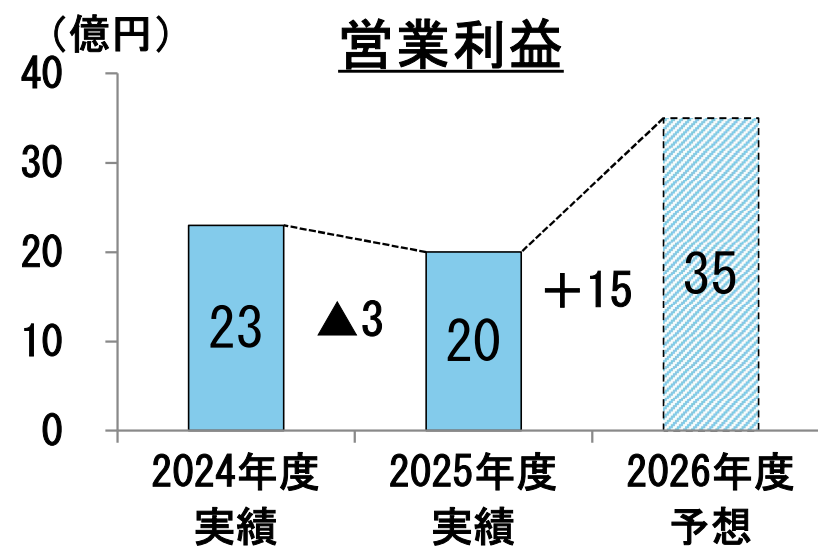
営業利益



「ファクトリーオートメーション」セグメント

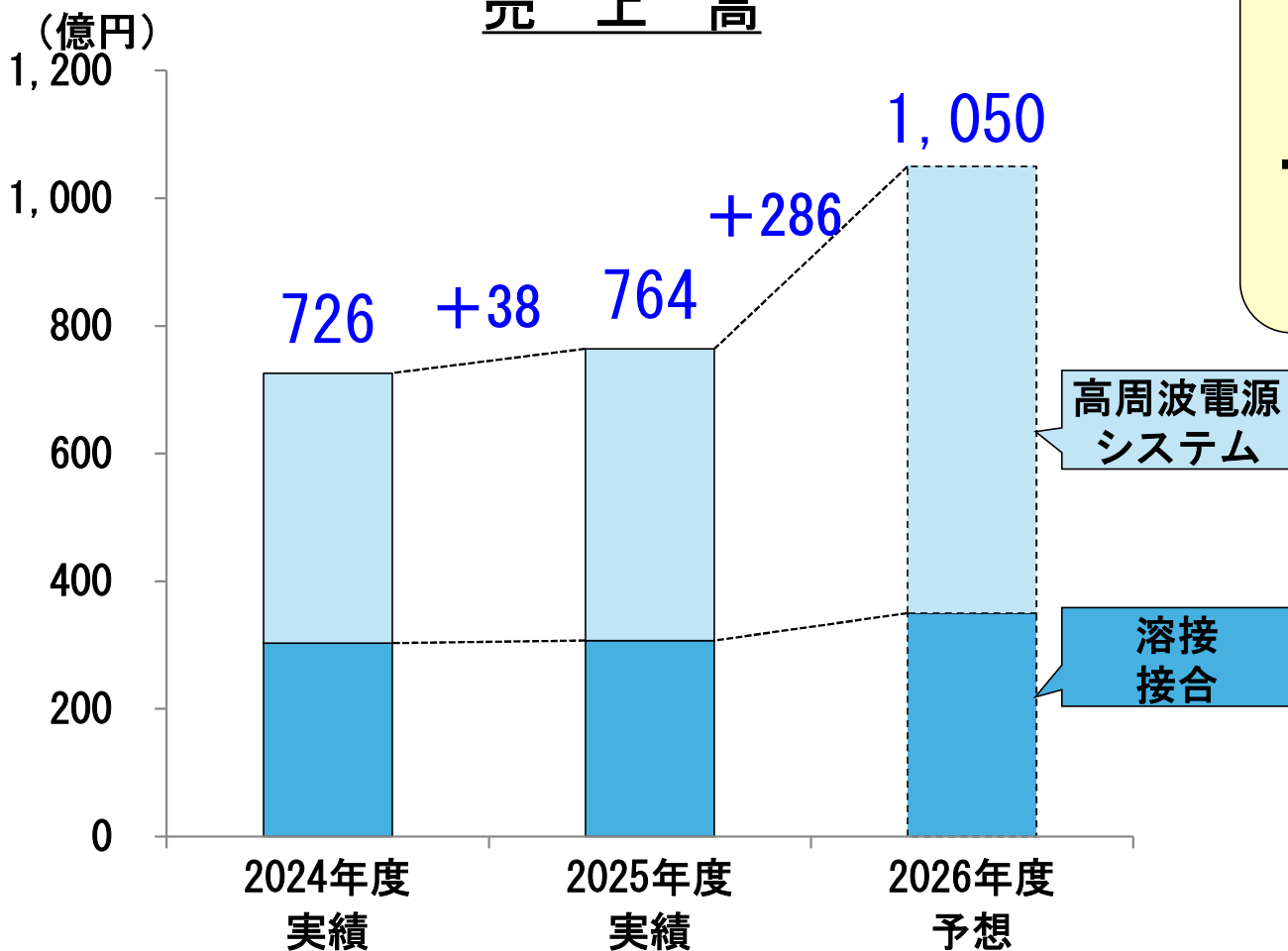


- ・FAロボットは生産自動化投資の回復により増収
- ・クリーンロボットは先端パッケージ向け搬送ロボットの需要増加により増収
- ・欧州子会社の収益性改善も増益に寄与



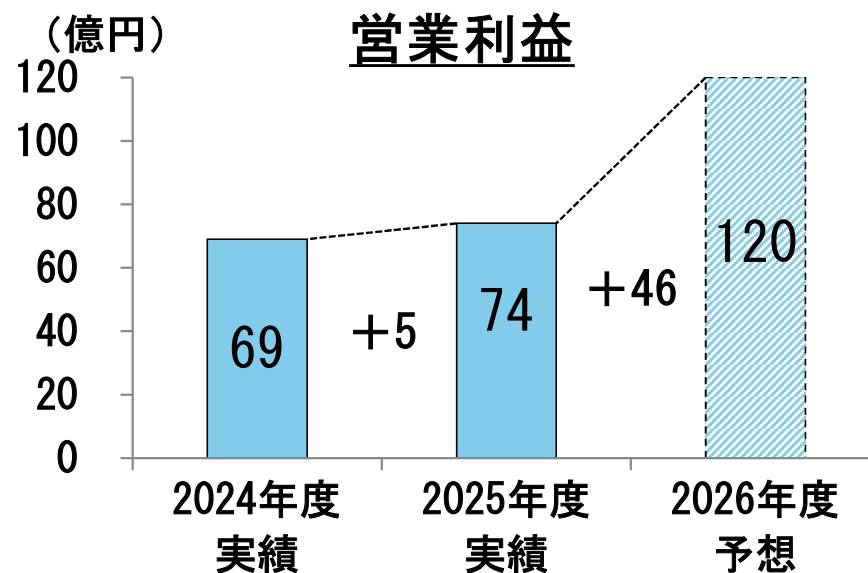
「マテリアルプロセッシング」セグメント

売上高

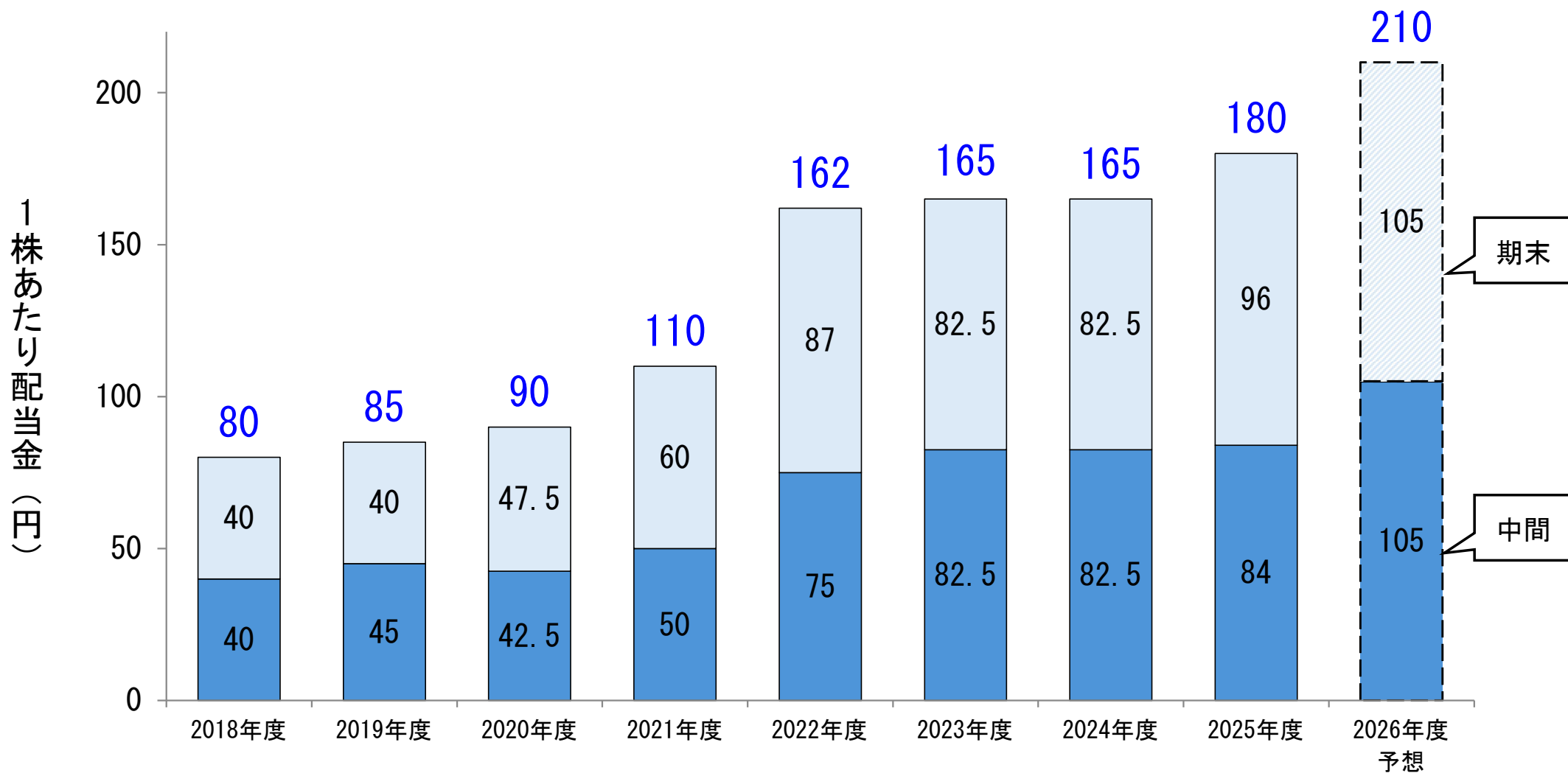


- ・ 高周波電源システムは生成AI・データセンター向け需要が増加、新工場の本格稼働により増収増益
- ・ 溶接・接合は国内造船や欧州での建築・鉄道関連向け需要増加も業績向上に寄与

営業利益



配当金の推移



※. 2025年度期末配当は2026年6月株主総会で決議予定

将来予想に関する注意事項

- 本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。
- なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。
 - 主要市場における経済情勢及び需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料価格の相場変動
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、M & Aなどの事業展開
 - 弊社の提携等に関するパートナーの戦略変化